

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								3.2	
Q1 室内環境									
1 音環境									
1.1 室内騒音レベル		-		-	-	-	-		
1.2 遮音									
1 開口部遮音性能		-		-	-	-	-		
2 界壁遮音性能		-		-	-	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-		-	-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-		-	-	-	-		
1.3 吸音		-		-	-	-	-		
2 温熱環境									
2.1 室温制御									
1 室温		-		-	-	-	-		
2 外皮性能		-		-	-	-	-		
3 ゾーン別制御性		-		-	-	-	-		
2.2 湿度制御		-		-	-	-	-		
2.3 空調方式		-		-	-	-	-		
3 光・視環境									
3.1 昼光利用									
1 昼光率		-		-	-	-	-		
2 方位別開口		-		-	-	-	-		
3 昼光利用設備		-		-	-	-	-		
3.2 グレア対策									
1 昼光制御		-		-	-	-	-		
3.3 照度		-		-	-	-	-		
3.4 照明制御		-		-	-	-	-		
4 空気質環境									
4.1 発生源対策									
1 化学汚染物質		-		-	-	-	-		
4.2 換気									
1 換気量		-		-	-	-	-		
2 自然換気性能		-		-	-	-	-		
3 取り入れ外気への配慮		-		-	-	-	-		
4.3 運用管理									
1 CO ₂ の監視		-		-	-	-	-		
2 喫煙の制御		-		-	-	-	-		
Q2 サービス性能					0.43			3.5	
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ									
1 広さ・収納性		-		-	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応		-		-	-	-	-		
3 バリアフリー計画		-		-	-	-	-		
1.2 心理性・快適性									
1 広さ感・景観		-		-	-	-	-		
2 リフレッシュスペース		-		-	-	-	-		
3 内装計画		-		-	-	-	-		
1.3 維持管理									
1 維持管理に配慮した設計		-		-	-	-	-		
2 維持管理用機能の確保		-		-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.2	0.50			3.2	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		-		3.0	0.80				
2 免震・制震・制振性能		-		3.0	0.20				
2.2 部品・部材の耐用年数				3.8	0.30				
1 躯体材料の耐用年数		-		3.0	0.20				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		-		3.0	0.20				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		-		5.0	0.10				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		-		5.0	0.10				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		-		5.0	0.20				
6 主要設備機器の更新必要間隔		-		3.0	0.20				
2.4 信頼性				3.0	0.20				
1 空調・換気設備		-		3.0	0.20				
2 給排水・衛生設備		-		3.0	0.20				
3 電気設備		-		3.0	0.20				
4 機械・配管支持方法		-		3.0	0.20				
5 通信・情報設備		-		3.0	0.20				

床:タイルカーペット、壁:ビニルクロス貼り、天井:岩綿吸音板
屋外露出ダクトにガルバリウム鋼板を採用
給水VLP(B)、排水VP(B)、消火SGP(C)、Eは不使用。

3 対応性・更新性			3.9	0.50				3.9
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30				
1	階高のゆとり	階高3.9m以上	5.0	0.60				
2	空間の形状・自由さ	0.1≦壁長さ比率≦0.3	4.0	0.40				
3.2 荷重のゆとり		床荷重:4900N/㎡	4.0	0.30				
3.3 設備の更新性			3.4	0.40				
1	空調配管の更新性	—	3.0	0.20				
2	給排水管の更新性	—	3.0	0.20				
3	電気配線の更新性	—	3.0	0.10				
4	通信配線の更新性	—	3.0	0.10				
5	設備機器の更新性	スペースを確保し、更新・修繕時に建物機能を維持可能。	4.0	0.20				
6	バックアップスペースの確保	バックアップ設備のためのスペースを確保している。	4.0	0.20				
Q3 室外環境(敷地内)			—	0.57				3.0
1 生物環境の保全と創出		—	3.0	0.30				3.0
2 まちなみ・景観への配慮		—	3.0	0.40				3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30				3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		—	3.0	0.50				
3.2 敷地内温熱環境の向上		—	3.0	0.50				
LR 建築物の環境負荷低減性								3.5
LR1 エネルギー			—	0.40				3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制		—	—	—				—
2 自然エネルギー利用		—	3.0	0.13				3.0
3 設備システムの高効率化		BEI=0.48	4.0	0.63				4.0
集合住宅以外の評価			4.0	1.00				
集合住宅の評価			—	—				—
4 効率的運用			3.0	0.25				3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00				
4.1	モニタリング	—	3.0	0.50				
4.2	運用管理体制	—	3.0	0.50				
集合住宅の評価			—	—				—
4.1	モニタリング	—	—	—				—
4.2	運用管理体制	—	—	—				—
LR2 資源・マテリアル			—	0.30				3.5
1 水資源保護			3.4	0.20				3.4
1.1 節水		自動水栓に加えて、節水型便器も採用している。	4.0	0.40				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60				
1	雨水利用システム導入の有無	—	3.0	0.70				
2	雑排水等利用システム導入の有無	—	3.0	0.30				
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.60				3.4
2.1 材料使用量の削減		—	3.0	0.11				
2.2 既存建築躯体等の継続使用		—	3.0	0.22				
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		—	3.0	0.22				
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		—	3.0	0.22				
2.5 持続可能な森林から産出された木材		—	—	—				—
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み		躯体と仕上材が容易に分別可能。OA707も採用。	5.0	0.22				
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.0	0.20				4.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		PRTR法に該当しない建材種別が2つある。	4.0	0.30				
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70				
1	消火剤	—	—	—				—
2	発泡剤(断熱材等)	吹付硬質ウレタンフォーム:A種1 JIS A9526	5.0	0.50				
3	冷媒	—	3.0	0.50				
LR3 敷地外環境			—	0.30				3.5
1 地球温暖化への配慮		LCGO2排出率=76%	3.9	0.33				3.9
2 地域環境への配慮			3.4	0.33				3.4
2.1 大気汚染防止		燃焼機器の使用は無	5.0	0.25				
2.2 温熱環境悪化の改善		—	3.0	0.50				
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25				
1	雨水排水負荷低減	行政指導は無いが、基本蓄雨高100mmを満たしている	5.0	0.25				
2	汚水処理負荷抑制	—	3.0	0.25				
3	交通負荷抑制	—	1.0	0.25				
4	廃棄物処理負荷抑制	—	2.0	0.25				
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33				3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40				
1	騒音	—	3.0	0.50				
2	振動	—	—	—				—
3	悪臭	—	3.0	0.50				
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.3	0.40				
1	風害の抑制	—	3.0	0.70				
2	砂塵の抑制	—	—	—				—
3	日照障害の抑制	日影基準に対して1ランク上の基準を満たしている。	4.0	0.30				
3.3 光害の抑制			3.7	0.20				
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明は設置無し	4.0	0.70				
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	—	3.0	0.30				

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	1.0	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	2.0	1.0	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	2.0	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	8.0	-	2.0	-	1.0	-	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0	-	2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0	-	-	-	-	-	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	9.0	-	-	-	-	-	2.0	2.0	1.0	2.0	2.0	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	6.0	-	1.0	1.0	-	-	-	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	2.0	-	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	-	1.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標	
Q1 室内環境	
2.1.3 外皮性能	窓システムSC - 窓の日射熱取得率(η) - U値(W/m2K) 窓システム - 屋根 - 外壁 - 床 - 住戸部分 窓システムU値 - 外皮UA値 - ηAC - ηAH -
3.1.1 昼光率	昼光率 -
4.2.2 自然換気性能	自然換気有効開口面積率 -
Q2 サービス性能	
1.1.1 広さ・収納性	執務スペース - /人 病床 .0㎡/床 シングル .0㎡ ツイン .0㎡
1.1.2 高度情報通信設備対応	コンセント容量 - VA/㎡
1.2.1 広さ感・景観	天井高 - m
1.2.2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペース - レストスペース -
2.2.1 躯体材料の耐用年数	想定耐用年数 - 年
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	想定必要間隔 - 年
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	想定必要間隔 20 年
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔	想定必要間隔 - 年
3.1.1 階高のゆとり	階高 4.6 m
3.1.2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率 14.0%
3.2 荷重のゆとり	床荷重 4900 N/m2
Q3 室外環境(敷地内)	
1 生物資源の保全と創出	外構緑化指数 12% 建物緑化指数 1%
3.2 敷地内温熱環境の向上	空地率 22% 水平投影面積率 2% 地表面対策面積率 2% 舗装面積率 12%
LR1 エネルギー	
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI/BPI _m - 断熱等性能等級 対象外 相当
2 自然エネルギー利用	自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年㎡ 採光を満たす教室数 0.0% 採光を満たす住戸数 0.0% 通風を満たす教室数 0.0% 通風を満たす住戸数 0.0%
3 設備システムの高効率化 非住宅部分	太陽光 .0kW 太陽熱等 .0kW 蓄電池 .0kW
集合住宅の評価	BEI/BEI _m 再エネ有 0.48 無 0.48 オフサイト再エネ有 - - 一次エネ削減率 再エネ有 無 -
LR2 資源・マテリアル	
1.2.1 雨水利用システム導入の有無	雨水利用率 0.0%
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	特定調達品目 - エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -
2.5 持続可能な森林から産出された木材	使用比率 -
3.2.1 消火剤	オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)
3.2.2 発泡剤(断熱材等)	オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) 1
3.2.3 冷媒	オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP)
LR3 敷地外環境	
2.2 温熱環境悪化の改善	見付面積比 143% 隣棟間隔指標Rw 0.11 地表面対策面積率 3.0% 屋根面対策面積率 0.0% 外壁面対策面積率 0.0% 見付面積Sb 1.168㎡ 卓越風向と直交する最大敷地幅Ws 40.09 m 基準高さHb 36.55 m 緑地 60㎡ 水面 ㎡ 保水性対策面 ㎡ 高反射対策面 ㎡ 再帰性反射対策面 ㎡